

## 地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第 19 回）の審議要旨

- 1 日 時 平成 28 年 7 月 26 日（火） 15:00～16:40
- 2 場 所 県庁 第 4 会議室
- 3 出席者 進士委員長、上田委員、加登田委員、河村委員、正木委員  
(委員長以外 50 音順)

## &lt;内 容&gt;

## 議 題

- 平成 27 年度における業務の実績に関する評価について
- 平成 27 年度における財務諸表等について
- 資料 1～7 により、事務局・法人から説明

≪資料説明後、質疑応答・意見交換≫ ●委員 ○センター □事務局

## &lt;技術相談について&gt;

- 技術相談件数は、地域別だと東部地域が少ない。東部地域の企業数全体はどのくらいか。母集団に対してどのくらいかという観点でも見ていただきたい。
- 比率は次回の委員会までに示したい。
- 技術相談は、中身の分析が大事である。企業にクレームが発生したときの解決事例を HP で掲載するなど、企業が産業技術センターに相談がしやすいよう工夫していただきたい。中小企業は相談する相手方を捜している。
- 技術相談の分類では、新製品開発や工程改善、クレームなどがある。秘密保持があるので公開できないものもあるが、企業に了承が得られたものは HP で公開したい。
- 西部地域は件数が多いとあるが、下関市でも多いのか。下関市では産業技術センターの認知度が低いように思う。
- 次回の委員会でも市町別に分けて示したい。

## &lt;人材育成について&gt;

- 研修など人材育成をすることで、どのように事業化に結び付くか、どのように次のステップにつながるのかは表れてこないのか。
- 人材育成の評価は難しく、結果として技術相談など県民サービスの項目に効果が出てくる。そのため、研修の項目では、なかなか「4」や「5」の評価がつかない可能性が高い。今回評価を下げたのはその観点から評価したためである。

## &lt;来庁者数について&gt;

- 来庁者数の数値目標は達成しているが、この数値が多いのか少ないのかがわからない。他県と比較した場合の位置付けはどうか。

○他県との比較はしていない。次回の委員会で示したい。ただし、職員数や、カウンターの仕方の違いもあるので、単純な比較はできない。

#### <施設利用について>

●学校の施設見学を積極的に受け入れていただきたい。産業技術センターは、計測など理科教育を実際に体験できる場所である。

#### <評価書について>

●評価書に、27年度の評価はアウトカムを重視したことを記載すべきでないか。

□記載したい。

●数値目標の評価が「5」の項目について、昨年度配置した専門操作補助員による効果など、努力したことも記載したらどうか。

□記載したい。

□評価書素案、財務諸表等については次回の評価委員会で意見のとりまとめを行いたい。

《各委員了承》